

2. 令和元年度 トピックス

◆ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事中止・臨時休館

新型コロナウイルス感染症が国内で流行しはじめ、令和2年1月大阪府内で、3月に豊中市内で患者の発生報告があった。

図書館においても感染拡大防止のため2月20日以降の開催予定行事を中止、3月2日以降は予約資料の貸出と資料の返却のみに限定し、そのほかのサービスを休止した。豊中市内の小中学校は3月2日より臨時休校となり、図書館は8日から24日まで全サービスを停止し、休館とした。この間、放課後こどもクラブなどへ職員派遣をおこなった。

3月25日からは予約確保資料の貸出と資料の返却のみを再開。図書館入口などで「新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ」「詐欺被害の啓発ポスター」などを掲示し、情報提供につとめた。



岡町図書館のカウンター前
フロア内で密を避ける配置に

◆ (仮称) 中央図書館基本構想の策定に向けて

中央図書館機能を構築し、中央図書館を核とした施設配置や分館も含めた図書館全体の再編に向けた指針となる「(仮称)中央図書館基本構想」策定に向けた取り組みを開始した。

今後の社会状況や多様な市民ニーズの変化に加え、図書館施設の老朽化や事務事業の見直し、「豊中市公共施設等総合管理計画」をふまえた内容となる。(31 ページ参照)

◆ 図書館コンピューターシステムの更新

Windows7 のサポート終了にともない、システム更新を実施した。近年 I C タグやセルフ機器の導入などを進めてきたことから、現行システムのバージョンアップと、機器の入れ替えのみをおこなう形で年末年始に実施した。そのためシステム更新による休館期間を大幅に縮小。バージョンアップによる機能強化をはかるとともに、必要な情報へのアクセスがさらに容易となるよう図書館 Web サイトの構成の見直しとデザイン刷新を実施。翻訳プログラムの導入による多言語対応など利便性の向上につとめた。



図書館 Web サイトのトップページ



エレベーターホールに臨時窓口を設置

◆ 東豊中図書館 空調設備改修工事により休館

東豊中図書館は空調設備改修工事のため、9月2日から12月末まで臨時休館した。利用の多い、また受け入れ間もない資料を事前に市内のほかの図書館に移し、利用に供することができるよう工夫した。

予約資料については休館当初、千里図書館での受け渡しとした。事務室部分の工事が終了した10月18日以降は、東豊中図書館1階エレベーターホールで受け渡しを再開した。



予約資料受取コーナー

◆ 野畑図書館「予約資料受取コーナー」設置

野畑図書館では6月から「予約資料受取コーナー」を開設。予約資料の受け渡しから貸出まで、セルフでの手続きが可能になった。平成30年度に東豊中、服部図書館に導入した方式を採用し、資料提供の効率性を高めるとともに、利便性向上をはかった。資料点検期間中も同コーナーを開放し、327人781点の利用につながった。

フロアには案内係を配置し、来館者へのきめ細かな対応をカウンター窓口と連携しておこなっている。

◆ 子ども文庫の紹介スライド作成

子ども文庫は、家庭・地域が連携し、長年にわたり地域で子どもと本をつなぐさまざまな事業に取り組み、子どもと大人が本を介して出会う場となっている。豊中子ども文庫連絡会は、図書館との協働事業など、市民の立場から子ども読書活動を支えている。

こうした取り組みを広く紹介するため、紹介スライド『いい場所 みつけ!! ~豊中の子ども文庫~』（DVD/12分）を作成した。各文庫から寄せられた写真やコメント、子ども文庫の役割や活動内容の説明などを中心に構成されている。図書館資料として研修や会議などへの貸出もはじめ、子ども読書活動連絡会で上映した。上映後のアンケートに「子どもたちやおうちの方が楽しんで利用されている様子がよくわかった」などの声があった。



『いい場所みつけ!! ~豊中の子ども文庫~』